

※以下の内容は11月19日現在のものであり、状況によって変更あり。

1 未然防止対策

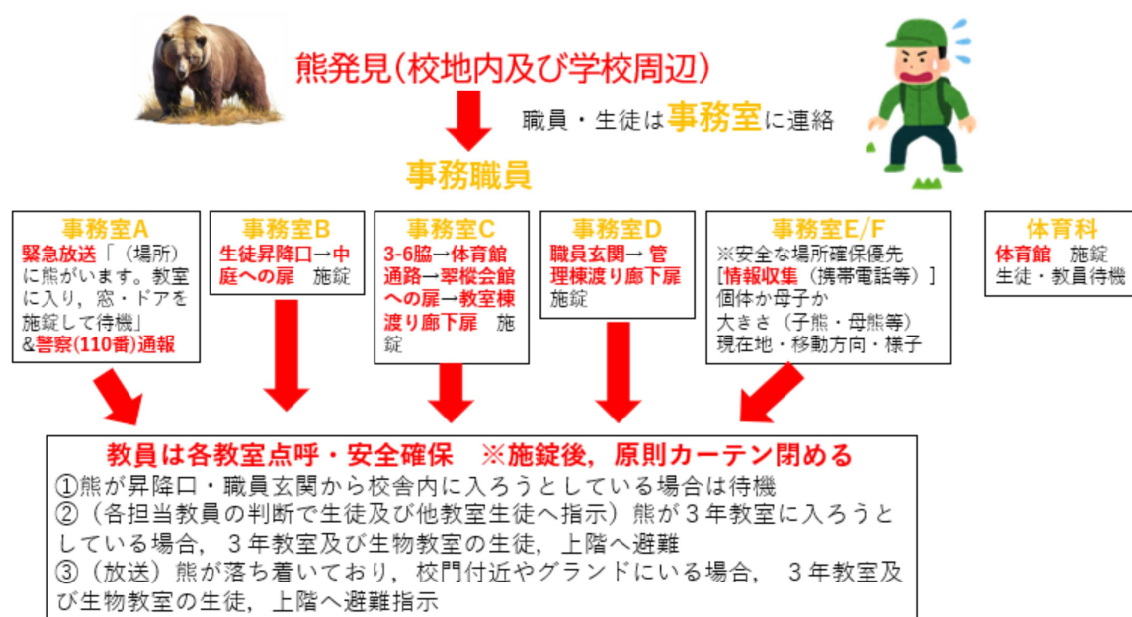
- (1)校地内へのクマの侵入を防ぐため9時から15時頃まで正門及び北門の門扉を閉める。
- (2)過去にクマの出没情報があった地域等で山に近づく校外活動等を行う場合は、クマよけの鈴などの音の出る物や撃退スプレーの携帯など、学校で準備を行う。
- (3)学校付近でクマの目撃情報等があった場合は、朝夕の登下校時間帯はクマが活発に行動する時間帯のため、地図を添付したeメッセージを送信するなど、生徒に注意を促す。
- (4)学校付近や通学路に近い場所で、クマの出没情報等があった時は、生徒や保護者へ伝達し、可能な限り単独行動を避けて登下校する。
- (5)校地内にクマを近付けないための対策を講じる。

例：実のなる樹木等は早めに収穫する。クマの餌になるようなものを放置しない。

校舎周辺の雑草を刈り払い、見通しを良くしてクマの隠れ場所をなくす。等

2 クマが校地内に侵入した場合の対応(平日・授業中)

(1)初期対応



(2)生徒の安全確保【※避難誘導・安全確保班】

各教室等で点呼及び安全確保に関する指示を行う。

(3)クマの位置・動向を把握【※現場確認班】

⇒クマの動きによっては、1階の生徒を2階に移動させる。

(4)県教育委員会・保健体育安全課に連絡【教頭】

(5)保護者にeメッセージで連絡【※連絡対応班】

※連絡対応班 教務部長・企画情報部長・教務部員

※避難誘導・安全確保班 総務部長・進路部長・担任

※現場確認班 生徒指導部長・副部長・生徒指導部員

※負傷者対応・応急手当 保厚部長・養護教諭

※関係機関への連絡 校長、教頭(警察へのパトロールの依頼も含む)

3 登下校時の対応

状況によって保護者への引き渡し対応を検討。

eメッセージで登校時間の変更または自宅待機を指示。

4 行政機関等からクマの出没情報があった場合

行政機関等からクマの出没情報が出された場合、学校長は、職員間で共有するとともに、危険度等を踏まえた上で、必要に応じて校内放送や地図を添付したeメッセージの送信等を行い、生徒や保護者に注意喚起を行う。

5 その他 クマと遭遇しないためのポイント

○朝夕の行動は避ける ○クマのいる場所に近づかない

○子グマを見たら立ち去る ○犬を連れて山に入らない 等をHR等で生徒に知らせる。